

## I 団体情報

### 1 基本情報

団体名	(一財) 札幌市環境事業公社		所管課 記入者	環境事業部総務課	
基本財産	40,000千円		担当	光谷	電話 011-211-2906
設立年月日	平成2年(1990年) 4月1日		本市出資額	20,000千円	(出資割合 50.0%)
設立・出資目的	(設立目的) 当該団体は、札幌市における事業系廃棄物等の適切かつ効率的な処理や資源化等に関する調査、研究、技術開発等を行うことを設立目的としている。  (出資目的) 当該団体は札幌市の廃棄物処理施策を補完する役割として、効果的な事業を展開し、市民の快適な生活環境の確保及び公共の福祉の増進に寄与することを出資目的とし、札幌市が主体となり出資している。		出資年月日	平成2年(1990年) 4月2日	
代表者	理事長（常勤） 渋谷 芳生（市OB）				
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ④	② (一社団) 札幌建設業協会 (25.0%) ⑤	③ (一財) 札幌市環境事業公社 (25.0%) ⑥		

### 2 実施事業

① 廃棄物の適正処理及び再資源化等の調査研究・普及啓発に関する事業	② 廃棄物の処理、処分及び再資源化に関する事業
③ 廃棄物の収集運搬に関する事業	④ 廃棄物処理施設等の計画立案、建設、維持管理、運営及び有効利用等に関する事業
⑤	⑥
⑦	⑧

➡ 「事業ごとの状況」参照

### 3 団体職員・構成員等

役員	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
常勤理事	1	1	0	0	9
常勤監事	0	0	0	0	
非常勤理事		5			
非常勤監事		2			
職員					76
常勤管理職	6	1	8	0	
常勤一般職	5	0	31	25	
非常勤職員		0			

役員の任期	
理事	2 年
監事	4 年
代表権のある役員の就任年月	
理事長	R6.6
副理事長	
職員総数の推移(人)	
R05.4.1時点	78
R06.4.1時点	78

令和7年4月1日現在(単位：人)			
プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	5
20歳代	3	50歳代	18
30歳代	5	60歳代	8
平均年齢		50.0	歳

プロパー職員の退職・採用状況(人)				
退職		採用		
定年	中途	新卒	中途	募集
R4	0	0	0	3
R5	0	1	1	2
R6	0	0	0	1
R7	0	1	0	1

補足  
プロパー職員の年齢構成は、39人のうち6割強の26人が50歳を超えており、新陳代謝の促進と長期的な展望に立った募集・採用を行っている。  
しかし近年、応募者が従前より減少してきており、効果的な職員募集方法を模索している。

...R7評価シート (R6決算) より転記  
...R6具体的な行動計画より転記  
...新たな記載欄

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)
正味財産増減計算書 財務状況 貸借対照表	正味財産増減計算書	経常収益(a)	7,596,615	7,745,648	(100.0%) (+149,033)
		経常費用(b)	7,384,248	7,425,898	(+41,650)
		うち管理費等(c)	33,809	34,327	(0.4%) (+518)
		うち人件費(d)	463,546	487,796	(6.3%) (+24,250)
		当期経常増減額(e)	212,367	319,750	(+107,383)
		当期正味財産増減額(f)	147,176	216,258	(+69,082)
		資産(g)	4,421,412	4,723,276	(+301,864)
		流動資産(h)	3,333,339	3,720,028	(+386,689)
		固定資産(i)	1,088,073	1,003,248	(▲ 84,825)
		うち基本財産(j)	40,000	40,000	(0)
		負債(k)	1,644,706	1,730,312	(+85,606)
		流動負債(l)	780,014	854,556	(+74,542)
		固定負債(m)	864,692	875,756	(+11,064)
		正味財産(n)	2,776,706	2,992,964	(+216,258)
		借入金残高(o)	0	0	(0)

#### 6 所管局による検証 (R6行動計画より)

今後の在り方  (設立・出資目的が現在も同様に続いているかにも触れるごと。)	<p>(1) 団体の在り方、出資の在り方 札幌市では、平成30年3月に策定した新スマートシティさっぽろ計画に基づき、循環型社会を実現するため、市民・事業者との連携によりリデュース・リユースの2Rに重点的に取り組むとともに、それでも排出されるごみについては、できるだけリサイクルを推進していくこととしている。 事業系廃棄物については、原則として排出する事業者にその処理責任が科されており、事業者が処理責任を完遂することが望まれる一方、民間企業が処理することには採算上の課題があり、民間企業独自で対応するのが困難であったことから、札幌市が主体となって民間企業団体とともに当該団体を設立した経緯がある。また、ごみの減量化や資源化が求められるようになった平成6年以降も、安定的な収集サービスや均等な料金体系を維持するために、事業系一般廃棄物の収集運搬事業の許可を当団体に集約して、効率的に管理することで、収集コストや作業量が増える「分別収集」や「小規模事業者からの収集」を維持してきたという経緯がある。 よって、事業系廃棄物等の適正・効率的な処理や資源化等に関する調査、研究、技術開発等を行うことを設立目的としている当該団体は、その事業実施の中核を担うことが強く求められ、上記目標を達成するため、本市と当該団体とが、より一層連携を密にして、事業系廃棄物等の適正・効率的な処理や資源化等に関する調査、研究、技術開発等を行っていくことが必要であり、今後も引き続き本市との密接な連携が求められることから、出資比率については、現状の1/2から1/4まで引き下げる方向では進めるものの、市のガバナンスを利かせる点で1/4の出資比率は確保すべきと考えている。</p> <p>(2) 経営の安定性や自立を高める方策 当該団体については、札幌市の廃棄物処理施策と親和性が高く、不可分な事業を展開しており、特に中核事業である事業系ごみ収集運搬事業においては、効果的な事業を行っており、現状では経営も安定しているものである。 今後においても当該団体が、札幌市の廃棄物処理施策を補完する役割として効果的な事業を展開し、市民の快適な生活環境の確保及び公共の福祉の増進に寄与するためには、札幌市との密接な連絡調整が必須であることから、市職員の派遣は継続した上で、更なる事業の採算性改善の余地がないか不断の検討を続けていくべきと考えている。</p>
--	--

#### 7 他の政令指定都市の状況

本市以外の政令指定都市での事業系一般廃棄物の収集運搬について、19市全てで民間事業者が運搬しており、うち、3市では外郭団体も運搬している。また、2市では市も運搬している。 実施手法について、19市全てで許可制度として民間事業者（外郭団体含む）が運搬しており、2市では市直営での運搬、1市では委託（随契）での運搬もある。 なお、本市以外の政令指定都市では、8市において廃棄物の収集運搬、リサイクル関係、処理施設の運営等の事業を実施している出資団体がある。
--

## II 事業ごとの状況

事業内容 1	廃棄物の適正処理及び再資源化等の調査研究・普及啓発に関する事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		x	/	○	x	
主要事業名	調査啓発事業（自主事業）	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	資源の有効活用及び再利用の研究を進めるとともに、リサイクル及び廃棄物の減量等に関する普及啓発に寄与			

1.事業内容	市支出欄	金額欄
(1)調査事業		(千円)
①事業系紙おむつのリサイクルに関する調査	(市支出なし)	0 (千円)
②びん・缶・ペットボトル選別事業に関する調査	(市支出なし)	0 (千円)
		(千円)
(2)普及啓発活動		(千円)
①広報活動（事業概要の発行・配布、キッズパンフレットの提供他）	(市支出なし)	0 (千円)
②各種イベントへの参加・協賛等（環境広場さっぽろ2024への出展、こどものまち「ミニさっぽろ2024」への協賛）	(市支出なし)	0 (千円)
		(千円)

2.実施結果						
(1)事業収支 (単位：千円)			(2)活動指標			
項目	R5年度	R6年度	①	イベントへの参加	R5年度実績	R6年度目標
収入	0	0	②	「キッズパンフレット」の小学生への配布数	1回	1回
(経常収益比)	(0)	(0)	③		15,961部	約16,000部
市補助金・交付金・負担金	0	0	④			15,931部
市業務委託料	0	0	⑤			
市指定管理費	0	0				
市施設利用料金収入	0	0				
自主事業収入（補助金除く）	0	0				
その他収入	0	0				
項目	R5年度	R6年度				
費用（支出）	46,378	58,823				
事業費	46,166	58,551				
管理費等	212	272				
項目	R5年度	R6年度				
収支差	▲ 46,378	▲ 58,823				
収支比率	0.00%	0.00%				
(3)成果指標						
①	ホームページアクセス件数	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績		
②	「啓発ポスター」の応募参加者数	129,552件	100,000件	142,449件		
③		133人	100人	174人		
④						
⑤						
3.所管局による評価						
事業目的に対して事業の効果は			■十分出ている □高める余地あり □出でない			
調査研究事業では、「資源の有効活用及び再利用の研究」として、事業系紙おむつのリサイクルに関する調査研究とびん・缶・ペットボトル選別事業に関する調査研究に取り組み、事業目的である廃棄物の「減量」「資源化」「事業の効率化」の推進に向けて調査結果を役立てており、定量的な効果としては現れにくいものであるが、継続して実施していくことが有効な事業である。						
普及啓発事業では、イベントへの参加や協賛等を通じ、廃棄物の減量リサイクルの重要性を市民・顧客に広くPRしている。また、啓発ポスターをごみ収集車の車体側面に掲示する「走る掲示板」の啓発活動や、札幌市内小学校4年生向けの「キッズパンフレット」の市内全校配布といった取り組みを順調に実施継続している。ホームページアクセス数については、新型コロナウイルスによる影響を受けて令和3年度より開始した「WEB工場見学」等により、アクセス数が増加している。以上より、各指標においても目標達成していることから、事業の効果は十分出ていると評価できる。						

事業内容2	廃棄物の処理、処分及び再資源化に関する事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	/	○	×	
主要事業名	びん・缶・ペットボトル選別事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	資源選別センターにおいて、事業系資源物の資源化（自主）、家庭ごみのびん・缶・ペットボトルの選別（受託）			

1.事業内容	市支出欄	金額欄
本市がごみステーションで混合収集する家庭系資源物（びん・缶・ペットボトル）、及び公社が収集する事業系資源物を、品目ごとに分類、異物除去の選別を実施し、圧縮・梱包等して一時保管したのち、指定法人やリサイクル事業者への売却・引渡しを実施する。	市委託料（随意契約）	892,697 (千円)
家庭系資源物については、容器包装リサイクル法に基づき本市が実施する容器包装廃棄物の分別・圧縮・梱包・保管業務に係る受託事業として、事業系資源物については、公社の自主事業として実施している。		(千円)
また、令和3年10月から、本市が家庭系資源物と同日に別袋収集する筒型乾電池の選別・梱包・保管業務をあわせて実施している。		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)

(1)事業収支 (単位：千円)		(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
項目	R5年度	R5年度	R6年度	R6年度	R6年度	R6年度
収入	872,713	872,713	892,697	34,570t	34,400t	33,427 t
(経常収益比)	(+11.5%)	(+11.5%)		100%	100%	100%
市補助金・交付金・負担金	0	0	0			
市業務委託料	872,713	872,713	892,697			
市指定管理費	0	0	0			
市施設利用料金収入	0	0	0			
自主事業収入（補助金除く）	0	0	0			
その他収入	0	0	0			
項目	R5年度	R5年度	R6年度	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
費用（支出）	1,026,402	1,026,402	980,881	中沼：A	中沼：A	中沼：A
事業費	1,021,703	1,021,703	976,347	駒岡：A	駒岡：A	駒岡：A
管理費等	4,699	4,699	4,534			
項目	R5年度	R5年度	R6年度			
収支差	▲ 153,689	▲ 153,689	▲ 88,184			
収支比率	85.03%	85.03%	91.01%			

3.所管局による評価						
事業目的に対して事業の効果は				■十分出ている	□高める余地あり	□出でない
搬入物の選別処理率は100%を維持しており、また、ペットボトル品質評価は両施設ともにAランクであり、指定法人やリサイクル事業者への円滑な引き渡しが行われていることから、適切な業務遂行のもと、廃棄物の適正処理及び資源の有効活用に対し、一定の成果を上げることができると認められるが、より一層の合理的かつ効率的な再資源化のため、更なる品質の向上を目指す必要がある。						

2.実施結果			3.所管局による評価		
(1)事業収支 (単位:千円)			(2)活動指標		
項目	R5年度	R6年度	① 处理量	R5年度実績	R6年度目標
収入	2,953	2,690	②	2,116t	2,200 t
(経常収益比)	(+0.0%)	(+0.0%)	③		
市補助金・交付金・負担金	0	0	④		
市業務委託料	0	0	⑤		
市指定管理費	0	0			
市施設利用料金収入	0	0			
自主事業収入(補助金除く)	2,953	2,690			
その他収入	0	0			
項目	R5年度	R6年度	(3)成果指標		
費用(支出)	63,112	73,429	① 総搬出量に対する資源物搬出量の割合	R5年度実績	R6年度目標
事業費	62,823	73,089	②	36.2%	30.0%
管理費等	289	340	③		33.5%
項目	R5年度	R6年度	④		
収支差	▲ 60,159	▲ 70,739	⑤		
収支比率	4.68%	3.66%			

主要事業名	剪定枝等処理事業（自主事業） <small>[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]</small>	剪定枝などの生木の破碎、チップ化により資源の有効活用に寄与
-------	---	-------------------------------

1.事業内容	市支出欄	金額欄
剪定枝等リサイクル施設（篠路資源化工場内）において、剪定枝などの生木をチップ化して、堆肥の材料、燃料用チップなどへのリサイクル事業を実施している。	(市支出なし)	0 (千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)

2.実施結果			
(1)事業収支	(単位：千円)	(2)活動指標	(3)成果指標
項目	R5年度	R5年度実績	R6年度目標
収入	46,081	3,992 t	3,200 t
(経常収益比)	(+0.6%)		
市補助金・交付金・負担金	0		
市業務委託料	0		
市指定管理費	0		
市施設利用料金収入	0		
自主事業収入（補助金除く）	46,081		
その他収入	0		
項目	R5年度	R6年度	R6年度実績
費用（支出）	45,650	37,617	100%
事業費	45,441	37,443	100%
管理費等	209	174	100%
項目	R5年度	R6年度	
収支差	431	▲ 2,863	
収支比率	100.94%	92.39%	
3.所管局による評価		事業目的に対して事業の効果は	
		<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出でていない	
剪定枝や伐採木などの生木を破碎・チップ化し、堆肥製造業者などに出荷することで、事業系一般廃棄物の減量が促進されるだけでなく、木質資源の有効活用や埋立地の延命化に貢献してきた。しかし、近年、FITやFIPを受けたバイオマス発電事業が広がっており、これを受け、石狩市森林組合等が設置主体で「道央地区未利用バイオマス供給協議会」（以下、「協議会」という。）が設置され、協議会が剪定枝等を買取収集していることから、受入量は減少している。			

事業内容3	廃棄物の収集運搬に関する事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	/	○	×	
主要事業名	事業系ごみ収集運搬事業（自主品牌事業）	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	事業系一般廃棄物の収集運搬許可を有するのは当団体のみであり、廃棄物の安定的かつ継続的な適正処理の維持			

1.事業内容	市支出欄	金額欄
①事業系ごみ、②家庭系の一時的多量ごみ、③家庭系廃棄パソコンの収集運搬	(市支出なし)	0 (千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)

(1)事業収支 (単位：千円)		(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
項目	R5年度	① 収集量（重量）	155,771t	156,440t	157,240 t	
収入	6,471,832	② 収集量（体積）	1,019,597m <sup>3</sup>	1,007,510m <sup>3</sup>	1,037,964m <sup>3</sup>	
(経常収益比)	(+85.2%)	③				
市補助金・交付金・負担金	0	④				
市業務委託料	0	⑤				
市指定管理費	0					
市施設利用料金収入	0					
自主事業収入（補助金除く）	6,471,832					
その他収入	0					
項目	R5年度					
費用（支出）	6,000,194					
事業費	5,972,722					
管理費等	27,472					
項目	R5年度					
収支差	471,638					
収支比率	107.86%					
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績		
① 事業系ごみのリサイクル率	16.8%	17.6%	16.5%			
②						
③						
④						
⑤						
3.所管局による評価						
事業目的に対して事業の効果は		□十分出ている	■高める余地あり	□出でない		
市内全域の事業所から出る一般廃棄物を一元的に収集・運搬することで分別収集が徹底されている。						
また、専用プリペイド袋による収集は、少量排出事業所に対するきめ細かな対応を可能とし、事業系一般廃棄物の適正排出を確保している。						
収集量は前年度と比較して体積ベースで1.8%増となったが、リサイクルごみの収集量は0.3%減となったため、リサイクル率も前年度と比較して約0.3%の減となった。今後も、多分別収集体制を継続させることで、一定のリサイクル率を確保し、廃棄物のリサイクルを通じた資源の有効活用に努める必要がある。						

事業内容4	廃棄物処理施設等の計画立案、建設、維持管理、運営及び有効利用等に関する事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	/	○	×	
主要事業名	ごみ資源化工場ほか施設管理事業（受託事業）	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	事業系ごみのリサイクル促進のため、ごみ固形燃料の生産・供給			

1.事業内容	市支出欄	金額欄
札幌市ごみ資源化工場（燃料工場）は、紙くず・木くず・廃プラスチック（塩ビを除く軟質プラスチック）等の資源化ごみを原料とし、固形燃料（RDF）として再生する施設であり、当該団体は、この施設等を適正に運営するため、総括的な施設管理を実施している。	市委託料（随意契約）	88,152 (千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)

(1)事業収支（単位：千円）		(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
項目	R5年度	R6年度	① 機器故障等による資源化ごみの受け入れ停止	0回	0回	0回
収入	86,075	88,152	② 機器停止等による資源化工場運転停止	0回	0回	0回
（経常収益比）	(+1.1%)	(+1.1%)	③			
市補助金・交付金・負担金	0	0	④			
市業務委託料	86,075	88,152	⑤			
市指定管理費	0	0				
市施設利用料金収入	0	0				
自主事業収入（補助金除く）	0	0				
その他収入	0	0				
項目	R5年度	R6年度	(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
費用（支出）	74,303	77,728	① 固形燃料生産量（t／年）	12,002	12,200	12,002
事業費	73,963	77,369	② 二酸化炭素削減量（t／年）	12,658	13,000	11,987
管理費等	340	359	③			
項目	R5年度	R6年度	④			
収支差	11,772	10,424	⑤			
収支比率	115.84%	113.41%				

3.所管局による評価

事業目的に対して事業の効果は 十分出ている 高める余地あり 出でない

総括的な施設管理を適切に行なったことで、事業系の木くず、紙くず等を単に焼却することなく、バイオマス燃料としてリサイクルされ、清掃工場の負荷軽減に貢献するとともに、この燃料の利用により化石燃料の使用量が抑制され、二酸化炭素排出量の削減が図られた。

成果指標はごみの受け入れ量に左右される特性があるため指標達成には至っていないが、適切な業務によりごみ受け入れ停止に至る事故等ではなく、事業の安定運営や環境負荷低減といった成果は着実に現れていることから、事業の効果は十分出でていると評価できる。

主要事業名	大型ごみ収集センター管理運営事業（受託事業）	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	大型ごみ戸別有料収集の円滑な業務遂行
-------	------------------------	-------------------------	--------------------

1.事業内容	市支出欄	金額欄
・市と受付業務受託者との連絡・調整業務	市委託料（随意契約）	24,310 (千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)

2.実施結果			
(1)事業収支（単位：千円）		(2)活動指標	R5年度実績 R6年度目標 R6年度実績
項目	R5年度	① 苦情等処理件数	2,154件
収入 (経常収益比)	23,141 (+0.3%)	②	目標値なし
市補助金・交付金・負担金	0	③	1,769件
市業務委託料	23,141	④	
市指定管理費	0	⑤	
市施設利用料金収入	0	(3)成果指標	R5年度実績 R6年度目標 R6年度実績
自主事業収入（補助金除く）	0	① 大型ごみ収集センター受付応答率（受付数/入電数）	81.2% 85%以上 82.3%
その他収入	0	②	
項目	R5年度	③	
費用（支出）	35,809	④	
事業費	35,645	⑤	
管理費等	164	3.所管局による評価	
項目	R5年度	事業目的に対して事業の効果は	■十分出ている □高める余地あり □出でていない
収支差	▲ 12,668	年間50万件前後に及ぶ大型ごみ収集センターの受信内容には、大型ごみの新規申し込みや申込内容の変更・キャンセルなどの他、収集時のトラブル・苦情や清掃事業全般に係る問い合わせ等が広く寄せられる。	
収支比率	64.62%	令和6年度においては、受付応答率85%の目標を達成するには至らなかったが、受付業務受託者が限られた回線で効率的かつ迅速に受付業務を遂行することが出来るよう、例外的又は回答困難な問い合わせ・クレーム等があった場合は、管理運営業務受託者が速やかに引継ぎ対応しており、大型ごみ収集に係る一連の作業の円滑な遂行について、十分な効果が出ていたものと認められる。	

主要事業名	中沼プラスチック・雑がみ選別センター施設管理事業（受託業務）	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	中沼プラスチック・雑がみ選別センターを適正に管理し、容器包装プラスチック及びごみのリサイクルを推進
-------	--------------------------------	-------------------------	---

1.事業内容	市支出欄	金額欄
中沼プラスチック選別センターは、容器包装リサイクル法に基づき一般家庭から排出されたプラスチックごみから、国が定める分別基準に適合するよう不適物を取り除く施設（市施設）である。選別後の資源は、指定法人に引き渡され、再商品化事業者によりリサイクルされる。	市委託料（随意契約）	69,955 (千円)
中沼雑がみ選別センターは、「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、一般家庭から排出された雑がみから、製紙原料に適合するよう不適物を取り除く施設（市施設）である。選別後の資源は、製紙原料として製紙会社等に売却している。また、取除いた不適物は、固体燃料の原料として資源化している。		(千円)
上記2施設は隣接しており、類似の業務であることから、施設を適正に運営するため、当団体が総括的な施設管理を実施している。		(千円)
		(千円)
		(千円)

2.実施結果		R5年度実績				R6年度目標				R6年度実績			
(1)事業収支（単位：千円）		(2)活動指標		(3)成果指標									
項目	R5年度	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	① 施設稼働日数（プラスチック選別センター）	257日	258日	258日	258日	② 施設稼働日数（雑がみ選別センター）	257日	258日	258日
収入	66,036	69,955			③					④			
（経常収益比）	(+0.9%)	(+0.9%)			⑤								
市補助金・交付金・負担金	0	0											
市業務委託料	66,036	69,955											
市指定管理費	0	0											
市施設利用料金収入	0	0											
自主事業収入（補助金除く）	0	0											
その他収入	0	0											
項目	R5年度	R6年度											
費用（支出）	66,394	66,801											
事業費	66,090	66,492											
管理費等	304	309											
項目	R5年度	R6年度											
収支差	▲ 358	3,154											
収支比率	99.46%	104.72%											
事業目的に対して事業の効果は													
■十分出ている □高める余地あり □出でない													
両施設ともに老朽化が進んでいるが、計画に沿った修繕や整備を適切に実施しているほか、突発的な故障に対しても受入停止に繋がらないよう適宜対応し、適正な保守管理を行った。													
近年、モバイルバッテリーが使用された電子機器の混入に起因する発火・発煙が発生しているが、これらに対しても速やかな対応により、事故を未然に防いでいる。													
また、いずれの施設も適正な処理により良好な品質を維持しながら、計画どおりリサイクルを推進している。													

### III 役員・管理職情報

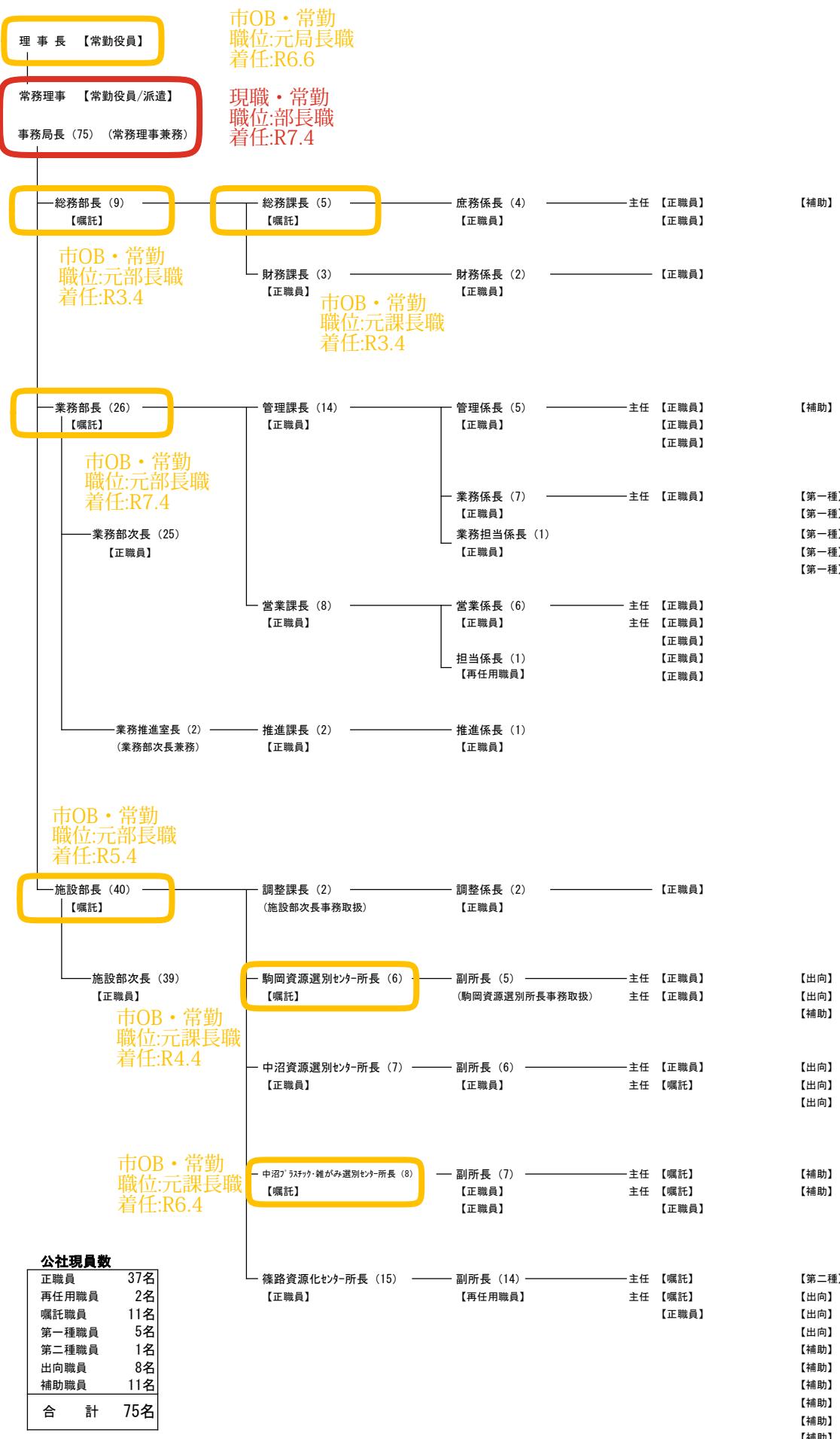
令和7年7月1日現在

OB・現職	役職	団体職名（現在）	市職位等（出身）	就任年月日	職務内容	派遣・再就職が必要な理由
市OB	常勤役員	専務理事	元部長職	R.O.O		(R6具体的な行動計画の人的関与欄、市職員部HP公表内容等を参照の上、入力ください)
市OB	常勤役員	理事長	元局長職	R6.6	公社を代表して理事会を主宰し、理事会及び評議員会が決議した事業方針や予算に基づき、公社全体の事業並びに業務執行の意思決定を行う。	当公社は、札幌市の一般廃棄物処理基本計画や同実施計画に基づいて実施するもので、行政の補完的役割を果たす上においては、まちづくりや行政運営に関する知識や経験が必要であるため。
現職	常勤役員	常務理事/事務局長	部長職	R7.4	理事長の補佐に関する業務、事業の総括管理、財務及び総務に係る総括管理	廃棄物処理施策に関する知識・経験を有する市職員1名を派遣しているところであり、今後も引き続き、本市との密接な連絡調整及びプロパー職員の育成を図る必要があることから、1名の派遣を継続的に行う。また、主要出資者としての経営責任があることから、役員等への就任を継続することにより、札幌市としての責任を引き続き果たしていく。
市OB	常勤管理職	総務部長	元部長職	R3.4	総務課及び財務課の業務統括	当公社が担う事業は、札幌市の廃棄物処理施策に基づいて実施されるものであり、市行政との協力体制の維持や連携強化が不可欠であるため、札幌市が推進する環境施策及び廃棄物行政に関する知識や経験が必要であるため。
市OB	常勤管理職	業務部長	元部長職	R7.4	事業系一般廃棄物の収集運搬部門の統括	当公社が担う事業は、札幌市の廃棄物処理施策に基づいて実施されるものであり、市行政との協力体制の維持や連携強化が不可欠であるため、札幌市が推進する環境施策及び廃棄物行政に関する知識や経験が必要であるため。
市OB	常勤管理職	施設部長	元部長職	R5.4	廃棄物処理施設部門の統括	当公社が担う事業は、札幌市の廃棄物処理施策に基づいて実施されるものであり、市行政との協力体制の維持や連携強化が不可欠であるため、札幌市が推進する環境施策及び廃棄物行政に関する知識や経験が必要であるため。

市OB	常勤管理職	総務課長	元課長職	R3.4	人事・給与・福利厚生、公社全体の庶務、理事会・評議員会の運営	当公社が担う事業は、札幌市の廃棄物処理施策に基づいて実施されるものであり、市行政との協力体制の維持や連携強化が不可欠であるため、札幌市が推進する環境施策及び廃棄物行政に関する知識や経験が必要であるため。
市OB	常勤管理職	駒岡資源選別センター所長	元課長職	R4.4	資源選別処理施設部門の責任者として、資源選別施設業務を管理監督する。	当公社が担う事業は、札幌市の廃棄物処理施策に基づいて実施されるものであり、市行政との協力体制の維持や連携強化が不可欠であるため、札幌市が推進する環境施策及び廃棄物行政に関する知識や経験が必要であるため。
市OB	常勤管理職	中沼プラスチック選別センター所長	元課長職	R6.4	資源選別処理施設部門の責任者として、資源選別施設業務を管理監督する。	当公社が担う事業は、札幌市の廃棄物処理施策に基づいて実施されるものであり、市行政との協力体制の維持や連携強化が不可欠であるため、札幌市が推進する環境施策及び廃棄物行政に関する知識や経験が必要であるため。

## 一般財団法人 札幌市環境事業公社職員配置図

(令和7年7月1日)



# 一般財団法人札幌市環境事業公社役員・評議員名簿

(令和7年6月27日現在)

## 理 事

役 職 名	氏 名	公 職 等
理 事 長	渋谷 芳生	
常 務 理 事	天野 雅之	札幌市環境局環境事業部 部長職
理 事	中村 敦哉	札幌市環境局環境事業部長
理 事	金谷 学	一般社団法人札幌建設業協会 事務局次長
理 事	松永 芳明	公益社団法人北海道産業資源循環協会 専務理事・事務局長
理 事	小林 三樹	学識経験者
理 事	近久 武美	国立大学法人 北海道大学 名誉教授

## 監 事

役 職 名	氏 名	公 職 等
監 事	竹内 弘雄	公認会計士 竹内事務所 公認会計士
監 事	川上 佳津仁	株式会社北洋銀行 公金・地域産業支援部 特任審議役

## 評議員

役 職 名	氏 名	公 職 等
評 議 員	梅田 岳	札幌市環境局長
評 議 員	宇野 稔弘	一般社団法人札幌建設業協会 専務理事
評 議 員	遠藤 浩	北海道環境生活部環境保全局循環型社会推進課長
評 議 員	山本 厚志	一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会 専務理事・事務局長
評 議 員	三浦 広仁	札幌環境維持管理協会 事務局長
評 議 員	西田 史明	札幌商工会議所 理事・事務局長
評 議 員	福士 明	北海学園大学 法学部 教授